

高校生ものづくりコンテスト2014東北大会【山形大会】〔電気工事部門〕実施報告

1 主 催 東北地区工業高等学校長会

2 主 管 高校生ものづくりコンテスト電気工事部門実行委員会
事務局 長井工業高等学校

3 実施結果

- (1) 期 日 平成26年7月30日(水)～31日(木)
- (2) 会 場 独立行政法人 高齢・障害・求職者支援機構 山形職業訓練支援センター
- (3) 参加人数 選手 7名 大会役員 2名 競技委員 9名 審査委員 5名
来賓 6名 事務局員 7名 補助生徒 7名 引率教員 7名
見学者等 約30名 合計 約80名
- (4) 入賞者 第1位 青森県立十和田工業高等学校 電気科3年 佐藤 大輝
第2位 秋田県立男鹿工業高等学校 電気電子科3年 土橋慎太郎
第3位 山形県立山形工業高等学校 電子システム科3年 鈴木 将也
1位の選手は第14回高校生ものづくりコンテスト全国大会の出場権を得る。
- (5) 競技規定 第14回高校生ものづくりコンテスト全国大会〔電気工事部門〕規定による。
- (6) 競技課題 第14回高校生ものづくりコンテスト全国大会〔電気工事部門〕課題による。
- (7) 審 査 審査の採点基準は、上記全国大会に準ずる。

4 事務局校による自己評価

(1) 目的に対して

東北地区内の工業高校生の電気工事に関する技術・技能の向上と相互交流を図ることを目的としている。大会を重ねる毎に、参加生徒および指導教員の技術が向上している。本大会出場権をかけて、東北地区内各県では計70名の電気系学科の高校生が競技に参加している。校内代表には選出されなかったものの、さらに多くの生徒が同じ課題により技術・技能を磨いてきた。

また、競技終了後に各県の情報交換を開催し、各県の事情や工夫を相互に学ぶことができた。各県大会を経て本大会を開催することは、電気工事に関する技術・技能の向上と相互交流を図るために、意義深い事業である。

(2) 運営について

近年の少子化により、東北地区内各県の高等学校工業部会の予算規模が縮小し、必要な経費確保に苦労しているところであるが、電気技術者試験センターによる「電気技術者資質向上事業」の支援により、開催に必要な経費が確保することができた。

また、本年度は本大会と全国大会が同じ会場であるため、作業板や作業エリアの設置について、競技委員および審査委員の要求水準が高かったが、要求に応えることができ、全国大会の会場設置についても目途を立てることができた。

大会の進行については、参加選手・引率教員および競技役員の協力により、全日程を予定通り進めることができた。関係の皆様には感謝申し上げます。